

～トップピックは安倍首相辞任、ポスト安倍で政局は動くもマーケットは動じず！～

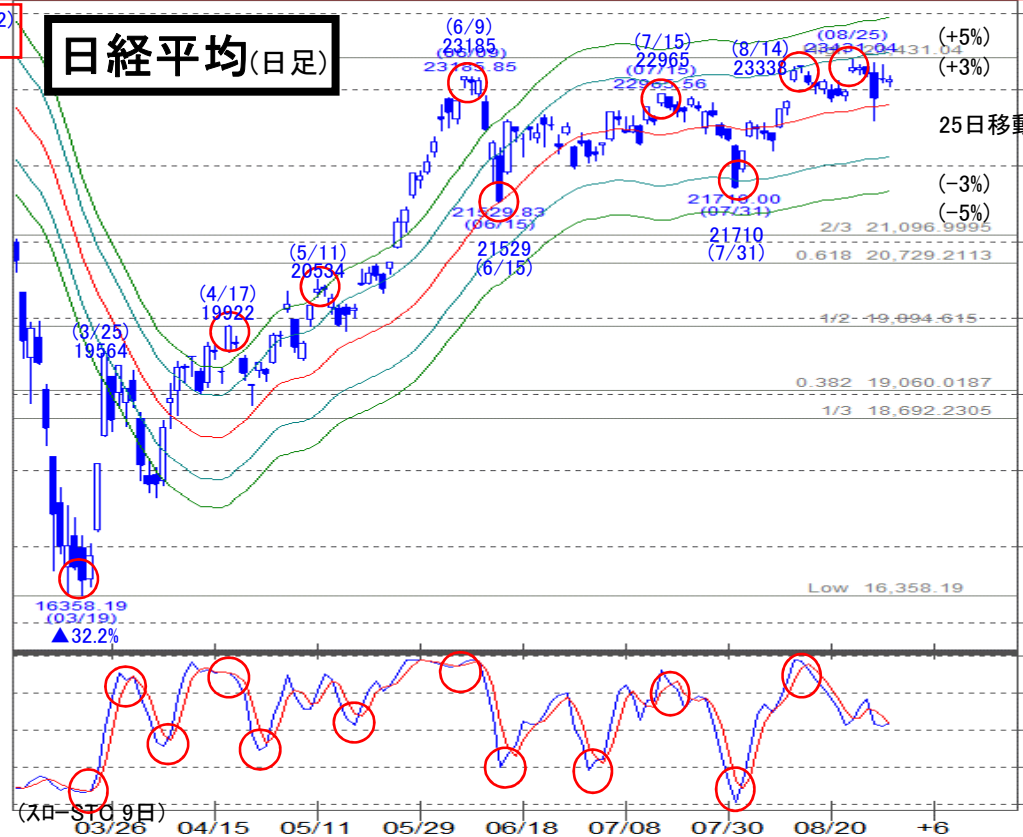
●外部環境

【当面のマーケットポイント】8/31-9/4は、名実共に9月相場入りだ。前週末の安倍総理辞任は大引け前1時間を残しての電撃的なニュースであったため、当日は株価への織り込みはやや消化不良気味であったものの、週末金曜日というタイミングであったため、土日で十分に周知され、週明けのマーケットでは前週末に下落した分をほぼ8割方埋めた状況となった。週刊誌的なキャッチでは「ポスト安倍の行方は？」などとなるであろうが、マーケットでは、政局の領主への期待や失望はほぼ政治離れとなる可能性が高い。政治はマーケット変化の一要因であり、変化のキッカケとなっても、中期的な方向性を決める主因にはなり辛いのが通説だ。マーケットの最大の関心事は、景気であり企業業績であるからだ。いづれにせよ、8/14に時期総理総裁が決まる。誰がなっても景気を良くしたいと考えるのは当然である。

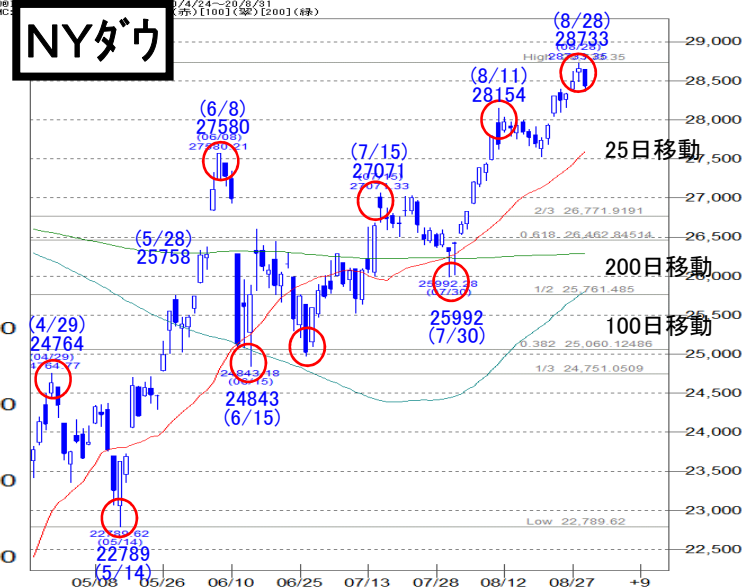
◆日経平均
2020/8/25終値
23296.77円
前日比(+311.26円)
前火曜比(+245.69円)
センチメント指標
Yes No
(Youtube) 60% 40%

2020/9/1終値
23138.07円
前日比(-1.69円)
前火曜比(-158.70円)
センチメント指標
Yes No
(Youtube) % %

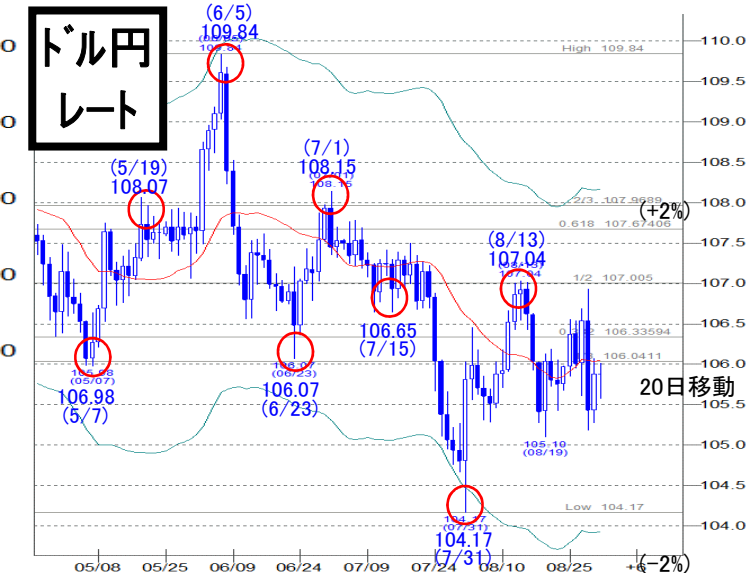
日経平均(日足)



NYダウ



ドル円レート



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

(出所) 当頁図表及びコメントは各種データ資料よりQUICK Workstation描画にてauカブコム証券作成。

ー当資料のご利用にあたり、お客さまにご確認いただきたい事項を巻末に記載しています。ご確認のほど、よろしくお願い致しますー

～トップピックは安倍首相辞任、ポスト安倍で政局は動くもマーケットは動じず！～

●投資環境 ポイント

〔マーケット環境の現状と行方〕

環境面からのストラテジー

(ポイント)

8月最終にマーケットに激震が走ったのは、8/28pm2:00「安倍首相辞任」当日の日経平均は、H23376円→L22594円終値22882円(▲326円)、値幅±782円一時▲614円8/29・30の土日経過し、身体上の理由が周知され、週明けからは週末の下げ幅をほぼ埋める状態に戻った。

政治問題はマーケットの変化のキッカケにはなるが決定的な方向性の問題となり辛いのが通説。

→政治とは景気や企業業績への変化の一要因に過ぎないため。

9月米新学期入り、9月第2週土曜日St.レジャーデー(9/7NYSE休場、労働感謝の日)いよいよ、9月相場がみえてきた。9月は米国市場が期待される月。

「メインシナリオ6:4で上放れ」が合致。但し年初来高値24110円は抜け難い想定。

→23000円超えで一段高で上値24000円まででピークアウトする想定

→年初来高値24100円超え困難の理由は、7割経済・7割業績のもと高値更新は考え辛い

→現状、下値を支えているのは金融政策と財政政策

～但し、短期的にはテクニカル面での変化日9/16を高値形成の時間軸と想定。ただ、11/3大統領選がノイズ要因か

～8月相場は3月期企業の第1Q決算が終焉。

(7割弱の企業が通期見通し発表)

(21/3月期、経常予想は▲26.9%減益)

→企業業績悪化はほぼ織り込んだと想定



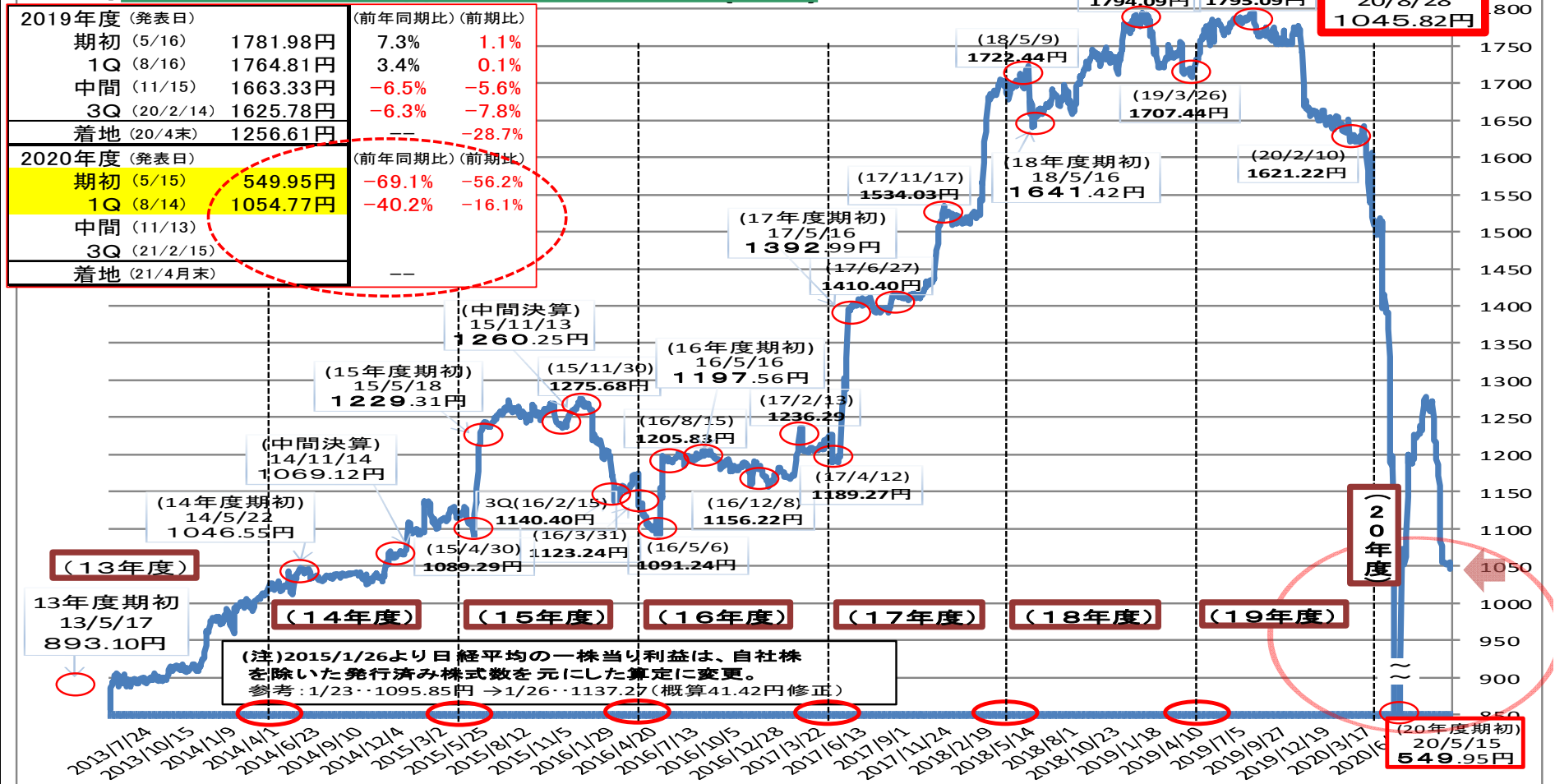
(出所) 当頁図表及びコメントは各種データ・資料よりQUICK Workstation描画にてauカブコム証券作成。

～トップピックは安倍首相辞任、ポスト安倍で政局は動くもマーケットは動じず！～

●投資環境
 ウォッチ
 (ウォーニング
 ポイント)

「企業業績、ファンダメンタルへの不安感は？」

日経平均 予想一株当り利益(EPS)推移(日足)



(注) 今期予想EPSは日経予想ベース。日経平均バリュエーション試算は日経集計予想EPSデータよりauカブコム証券作成。2020年8月28日現在。

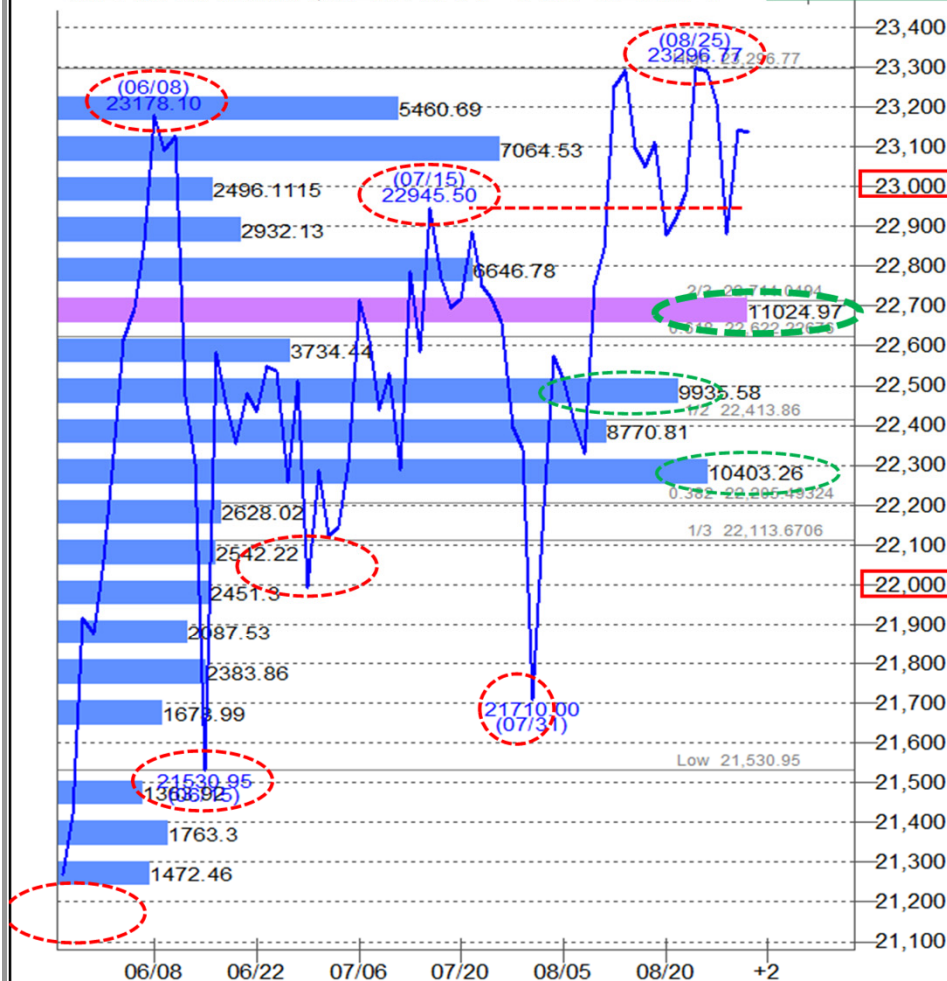
~トップピックは安倍首相辞任、ポスト安倍で政局は動くもマーケットは動じず!~

●投資環境 ウォッチ

(ウォーニング
ポイント)

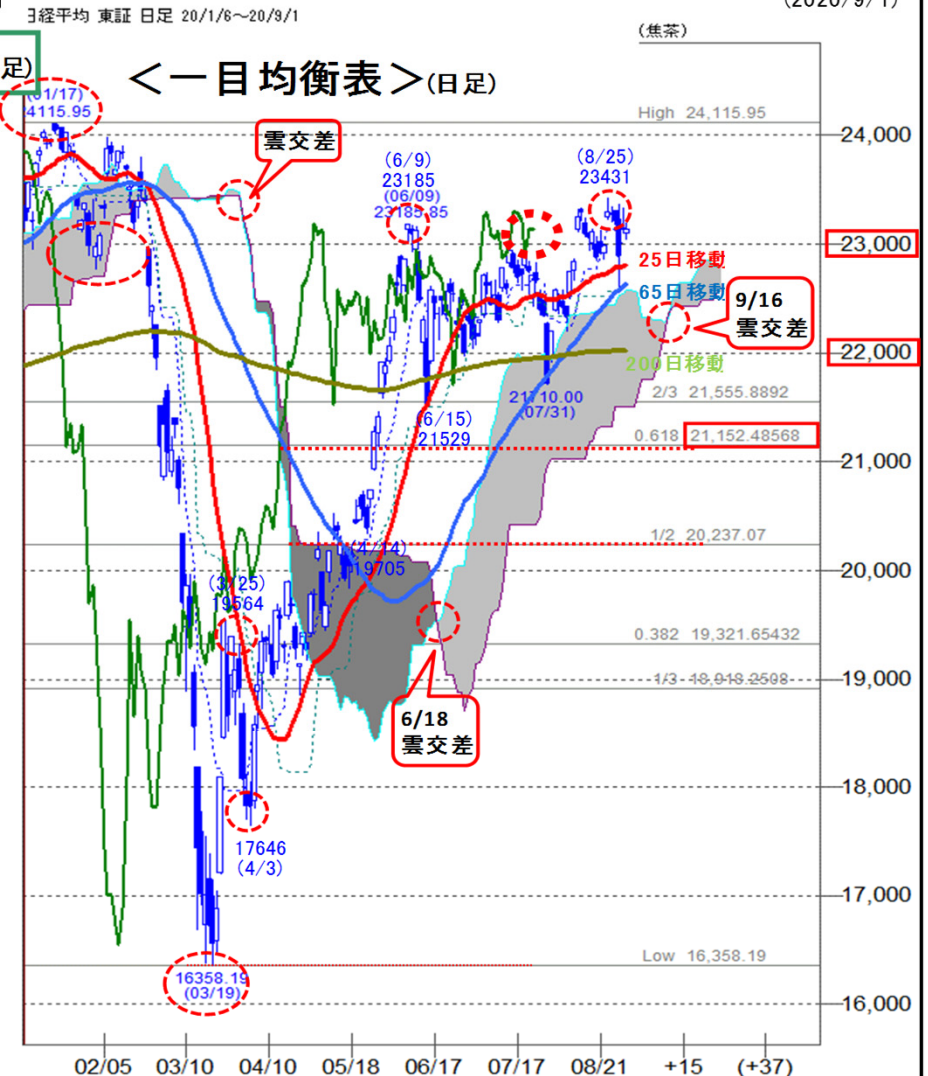
〔需給と短期テクニカル:調整局面〕

＜価格帯別累積出来高＞(日足) 68立会5/26~



日経平均(日足)

＜一目均衡表＞(日足)



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

(C) QUICK Corp. All rights reserved. (出所) 当頁図表は各種データ・資料よりQUICK Workstation描画にてauカブコム証券作成。

『当面のストラテジー』(河合レポート) **Youtube放映** au Kabucomストラテジーレポート

(毎週火曜20:00～約40分予定)

<https://www.youtube.com/user/kabucom8703>

[2020年8/31～9/4 No.0552]

～トップピックは安倍首相辞任、ポスト安倍で政局は動くもマーケットは動じず！～

●投資 アイデア

8月末、第1Q決算が出揃った後のレーティングランクは!?

ロング(Buy)参考リスト

「買い」上位の株価レーティングランキング(月末集計)

20年8月末時点 ―QUICKコンセンサス調べ―

※採用社数が、5社以上の銘柄のみランキングの対象。

順位	コード	銘柄名	レーティング	社数
1	5020	ENEOS	2.00	7
1	7164	全国保証	2.00	5
3	9984	ソフトバンクG	1.90	10
4	6504	富士電機	1.88	8
4	6981	村田製	1.88	17
6	3101	東洋紡	1.83	6
6	3186	ネクステージ	1.83	6
6	4043	トクヤマ	1.83	6
6	4689	ZHD	1.83	6
10	2471	エスプール	1.80	5
10	7034	プロレド	1.80	5
10	9065	山 九	1.80	5
13	3360	シブHD	1.71	7
13	3563	スシローGHD	1.71	7
13	4587	ペプシ	1.71	7
13	6758	ソニー	1.71	21
17	3279	API	1.67	6
17	5929	三和HD	1.67	6
17	8766	東京海上	1.67	9
20	7532	パンパシHD	1.62	13
21	5233	太平洋セメ	1.60	5
21	6370	栗田工	1.60	5
21	7780	メニコン	1.60	5
24	8630	SOMPOHD	1.56	9
25	8031	三井物	1.55	11
26	7267	ホンダ	1.53	15
27	3941	レンゴー	1.50	8
27	4208	宇部興	1.50	6
27	6762	TDK	1.50	16
27	6976	太陽誘電	1.50	16

(注)レーティング値は各調査機関レーティングを-2/-1/0/1/2の5段階数値に換算して平均化した値。社数は調査機関カバー社数。調査機関カバー社数5社以上対象。

右表枠内は直近月末値がレーティング1以上。QUICK社集計、QUICK Workstationより auカブコム証券 作成

株価レーティング月間 上昇幅ランキング(月末集計)

20年8月末時点 ―QUICKコンセンサス調べ―

※採用社数が、5社以上の銘柄のみランキングの対象。

順位	コード	銘柄名	変化幅	8月末	7月末
1	9706	空港ビル	0.60	0.20	-0.40
2	6723	ルネサス	0.50	1.33	0.83
3	2432	DeNA	0.42	0.33	-0.09
4	6728	アルバック	0.40	1.20	0.80
4	9075	福山運	0.40	0.00	-0.40
6	6724	エプソン	0.38	-0.29	-0.67
7	7272	ヤマハ 発	0.35	0.58	0.23
8	1925	大和ハウス	0.33	1.22	0.89
8	2212	山崎パン	0.33	-0.50	-0.83
8	3101	東洋紡	0.33	1.83	1.50
8	5214	日電硝	0.33	1.00	0.67
8	6586	マキタ	0.33	0.71	0.38
8	9989	サントラッグ	0.33	0.50	0.17
14	5020	ENEOS	0.29	2.00	1.71
14	7240	NOK	0.29	-0.14	-0.43
14	8282	ケースHD	0.29	0.43	0.14
14	9069	センコーGHD	0.29	0.43	0.14
18	6302	住友重	0.28	0.71	0.43
19	2413	エムスリー	0.27	1.27	1.00
20	8953	日本リテール	0.26	0.83	0.57
21	7988	ニフコ	0.25	0.38	0.13
21	9375	近鉄エクス	0.25	1.38	1.13
21	9502	中部電	0.25	1.00	0.75
21	9831	ヤマダ電	0.25	0.25	0.00
25	9684	スクエニHD	0.23	1.29	1.06
26	6471	日精工	0.22	1.00	0.78
27	7735	スクリン	0.21	0.21	0.00
28	3291	飯田GHD	0.20	0.60	0.40
28	4980	テクセリアルス	0.20	1.20	1.00
28	5949	ユニプレス	0.20	-0.60	-0.80

―当資料のご利用にあたり、お客さまにご確認いただきたい事項を巻末に記載しています。ご確認のほど、よろしくお願い致します―

『当面のストラテジー』(河合レポート) **Youtube放映** au Kabucomストラテジーレポート

(毎週火曜20:00～約40分予定)

<https://www.youtube.com/user/kabucom8703>

[2020年8/31～9/4 No.0552]

～トップピックは安倍首相辞任、ポスト安倍で政局は動くもマーケットは動じず！～

●投資 アイデア

8月末、第1Q決算が出揃った後のレーティングランクは!?

ショート(Sell)参考リスト

「売り」上位の株価レーティングランキング(月末集計)

20年8月末時点 ―QUICKコンセンサス調べ―

※採用社数が、5社以上の銘柄のみランキングの対象。

順位	コード	銘柄名	レーティング	社数
1	2501	サッポロHD	-1.00	6
1	4506	大日住薬	-1.00	8
1	8267	イオン	-1.00	8
4	6806	ヒロセ電	-0.92	13
5	9107	川崎船	-0.89	9
6	5803	フジクラ	-0.83	6
7	3197	すかいHD	-0.80	5
8	8227	しまむら	-0.78	9
9	5406	神戸鋼	-0.71	7
10	5711	三菱マ	-0.67	6
10	6395	タダノ	-0.67	6
【リト】→10	8967	日本ロジ	-0.67	6
13	7201	日産自	-0.65	17
14	2651	ローソン	-0.64	11
15	7261	マツダ	-0.63	16
【リト】→16	5949	ユニプレス	-0.60	5
【リト】→17	8952	JRE	-0.56	9
18	2212	山崎パン	-0.50	6
18	6366	千代建	-0.50	6
18	9142	JR九州	-0.50	8
21	7751	キヤノン	-0.46	13
22	7731	ニコン	-0.45	11
23	6753	シャープ	-0.44	9
24	3632	グリー	-0.43	7
24	4917	マンダム	-0.43	7
24	6472	NTN	-0.43	7
27	5471	大特鋼	-0.40	5
27	9042	阪急阪神	-0.40	5
29	3099	ミツコシセタン	-0.38	8
29	5332	TOTO	-0.38	8

株価レーティング月間 下降幅ランキング(月末集計)

20年8月末時点 ―QUICKコンセンサス調べ―

※採用社数が、5社以上の銘柄のみランキングの対象。

順位	コード	銘柄名	変化幅	8月末	7月末
1	4704	トレンド	-0.57	0.29	0.86
2	2871	ニチレイ	-0.43	1.00	1.43
3	3288	オープンハウス	-0.40	0.20	0.60
3	3309	積水ハウスR	-0.40	0.20	0.60
3	8279	ヤオコー	-0.40	0.60	1.00
3	9042	阪急阪神	-0.40	-0.40	0.00
3	9058	ランコム	-0.40	0.00	0.40
8	7269	スズキ	-0.36	0.20	0.56
9	4739	CTC	-0.34	1.08	1.42
9	9076	セイノーHD	-0.34	0.33	0.67
【リト】→11	3279	API	-0.33	1.67	2.00
11	6028	テクノロHD	-0.33	0.67	1.00
11	6845	アズビル	-0.33	0.67	1.00
11	9005	東 急	-0.33	0.50	0.83
15	4021	日産化	-0.30	0.50	0.80
16	5406	神戸鋼	-0.28	-0.71	-0.43
17	4768	大塚商	-0.27	1.09	1.36
18	3632	グリー	-0.26	-0.43	-0.17
19	4912	ライオン	-0.25	0.25	0.50
19	6407	CKD	-0.25	1.38	1.63
19	6645	オムロン	-0.25	0.45	0.70
19	7181	かんぽ	-0.25	0.25	0.50
19	9531	東ガス	-0.25	0.38	0.63
19	9749	富士ソフト	-0.25	1.00	1.25
25	6383	ダイフク	-0.24	1.18	1.42
26	4578	大塚HD	-0.22	0.00	0.22
26	4902	コニカミノルタ	-0.22	-0.22	0.00
26	8253	クレセゾン	-0.22	0.78	1.00
26	8267	イオン	-0.22	-1.00	-0.78
30	2875	東洋水産	-0.21	0.67	0.88

(注)レーティング値は各調査機関レーティングを-2/-1/0/1/2の5段階数値に換算して平均化した値。社数は調査機関カバー社数。調査機関カバー社数5社以上対象。

右表欄内は直近月末値がレーティングマイナス値。QUICK社集計、QUICK Workstationより auカブコム証券 作成

―当資料のご利用にあたり、お客さまにご確認いただきたい事項を巻末に記載しています。ご確認のほど、よろしくお願い致します―

『当面のストラテジー』(河合レポート) **Youtube放映** **au Kabucomストラテジーレポート** (毎週火曜20:00～約40分予定) <https://www.youtube.com/user/kabucom8703> [2020年8/31～9/4 No.0552]

～トピックは安倍首相辞任、ポスト安倍で政局は動くもマーケットは動じず！～

- ・当セミナーは、情報提供を目的としており、特定の商品の推奨や売買に関する断定的判断の提供を目的とするものではありません。
- ・当セミナーにおいて、信用取引、先物・オプション取引や外国為替証拠金取引(FX)を含む当社取扱商品の勧誘を目的とした商品説明やご案内等、および証券口座開設のご案内をさせていただくことがあります。
- ・auカブコム証券のお取扱商品へのご投資の際は、各商品に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。各商品等は価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込むおそれがあり、また商品等によっては投資元本を超える損失(元本超過損)が生じるおそれがあります。
- ・各商品の手数料等は、商品、銘柄、取引金額、取引チャネル等により異なり多岐にわたるため、具体的な金額または計算方法を記載することができません。手数料等の詳細は、当社ホームページ(<https://kabu.com/cost/>)をご覧ください。手数料等には消費税が含まれます。
- ・自動売買を含むすべての注文は、必ず約定するものではありません。
- ・当社お取扱商品の手数料等およびリスクの詳細については、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、約款・規定集および当社ホームページの「ご投資にかかる手数料等およびリスクについて」(<https://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>)や取引ルール等をよくお読みの上、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任でおこなってください。

＜現物株式取引(ブチ株®含む)に関するご注意事項＞

- ・株式は、元本や利益を保証するものではありません。株式は、金利の変動、為替の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・現物株式の手数料の概要は次のとおりです。＜現物株式＞最大3,690円(お電話での注文は、自動音声応答:100円、オペレーター経由:2,000円が別途加算)
- ＜ブチ株®＞約定金額×0.5%(最低手数料48円)(税抜)(お電話での注文は、オペレーター経由:2,000円(税抜)が別途加算)

＜信用取引に関するご注意事項＞

- ・信用取引の売買等においては、株式市場を取り巻く需給により株価が変動し投資元本を割り込むことがあります。株式の価格には、金利・為替・商品価格・天災等の株式市場全体に影響を及ぼす外部要因や発行会社自体の経営・財務状況の変化および発行会社に対する外部変化が影響を与えます。また、取引量の少ない株式の場合は、お客さまご自身のお取引により価格が変動することにも考慮が必要です。
- ・信用取引をおこなうには、売買代金の30%以上かつ30万円以上の保証金の差し入れが必要であり、保証金の最大約3.3倍のお取引が可能です。信用取引は、差し入れた保証金を上回る金額の取引が出来るため、損失の額が差し入れた保証金を上回る(元本超過損)おそれがあります。
- ・信用取引には取引期限があり、取引期限を超えてのお取引はできず、所定の期日までに反対売買がなされない時は、予め定められた方法により決済されますが、上場廃止、株式併合、株式分割、権利処理等により、返済期限が前倒しになる場合があります。
- ・信用取引の委託保証金率および代用有価証券の掛目は当社独自の判断によって変更する場合があります。委託保証金率および代用有価証券の掛目は当社独自の判断によって変更することがあります。
- ・制度信用取引と一般信用取引(長期、売短®)では、返済の期限等について異なる制約があります。合併や株式分割等の事象が発生した場合や、株式の調達が困難となった場合等に返済期限を設定することがあります。一般信用取引(長期、売短®)の建玉について株式の調達が困難となった場合等は、一定の催告期間を設定した上で、当社が定める期日に変更する場合がありますが、緊急かつやむを得ない事由がある場合には、催告期間を置かず期日を変更します。
- ・一般信用「売」はすべての上場銘柄に対応しているものではありません。一般信用(長期、売短®)売建可能銘柄は日々、貸付有価証券の調達状況等により銘柄および株数に変更がございます。
- ・権利落日の取引所基準価格は、前日終値から一株当たりの予想配当額分だけ理論上値下がります。
- ・権利付最終日の大引け時点で現物買いおよび信用売建玉をしている場合、現物については税金が差し引かれた配当を受け取り(配当金の約80%)、一般信用売建玉については配当調整金をお支払い(配当金の100%)いただきます。つきましては、配当金の約20%の差額分をご負担いただくことになりますので、予めご注意ください。
- ・保有する株式信用取引の評価損や決済損の状況により委託保証金の価値が最低維持率未満となった場合には、所定日時までに不足額を納める必要があります。
- ・信用取引に際して、信用管理費・名義書換料をお支払いいただくほか、買付けの場合は買付代金に対する金利を、売付の場合は売付株式等に対する貸株料および逆日歩(品賃料)をお支払いいただきます。また、品受・品渡しをおこなった場合は品受/品渡しに冠する手数料をお支払いいただきます。
- ・信用取引の手数料および諸経費は以下のとおりです。

＜手数料＞無料 ＜買方金利＞最大3.98% ＜売方金利＞0% ＜貸株料＞最大5.85%

＜投資信託に関するご注意事項＞

- ・投資信託は、元本や利益(分配金を含む)を保証するものではありません。組み入れた金融商品の値動き等により基準価額が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・投資信託は銘柄により、販売手数料とは別に信託報酬、解約手数料、その他手数料等を要するものがありますが、銘柄毎に要件・料率等が異なりますので表示できません。手数料等は、当社ホームページの目論見書および目論見書補完書面等にてご確認ください。
- ＜指数先物取引・指数オプション取引に関するご注意事項＞
- ・指数先物取引および指数オプション取引は、元本や利益を保証するものではありません。指数先物取引および指数オプション取引は、対象指数の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・指数先物取引および指数オプション取引をおこなうには、「SPAN®証拠金額×当社が定める掛目ーネット・オプション価値の総額」で計算される証拠金の差し入れが必要です。なお、証拠金の額は、金融商品取引所等の規制及び当社独自の判断で変更されることがあります。このため、取引金額の証拠金額に対する比率は一定でなく、明記することができません。

免責事項

～トップピックは安倍首相辞任、ポスト安倍で政局は動くもマーケットは動じず！～

- ・指数先物取引では、差し入れた証拠金を上回る金額の取引が出来るため、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあります。また、指数オプションの売りをおこなった場合、予測に反する方向へ大きく向かった場合、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあり、また損失額が限定されていません。
- ・指数先物取引および指数オプション取引の手数料の概要は以下のとおりです。 指数先物取引、指数オプション取引: (<https://kabu.com/item/fop/cost.html>)
- ＜外国為替証拠金取引に関する注意事項＞
- ・外国為替証拠金取引(シストレFX®、くりっく365)は、元本や利益(スワップポイントを含む)を保証するものではありません。外国為替相場や各国通貨の金利の変動等により、元本を割り込むおそれがあります。
- ・外国為替証拠金取引は、お客さまが行う取引の金額が、その取引についてお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっているため、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあります。
- ・外国為替証拠金取引の取引手数料は次のとおりです。なお、取引にあたっては提示する売値と買値の間には差額(スプレッド)があります。スプレッドは通貨ペアごとに異なります。＜シストレFX®＞無料 ＜くりっく365＞無料 ＜くりっく365ラージ＞片道1枚あたり1,015円(税込)
- ・外国為替証拠金取引をおこなうにあたって、お客さまが預託しなければならない必要証拠金は次のとおりです。
- ＜シストレFX®＞個人口座: 取引金額の4%以上(レバレッジの上限は約25倍)。法人口座: 金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引金額に乗じて得た額以上(為替想定リスク比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的モデルを用い算出したものです)。この証拠金額は、取引対象である為替の価格変動に応じて変動しますので、レバレッジは一定ではなく明記することができません。
- ＜くりっく365＞個人口座: 東京金融取引所が定めるレバレッジ25倍上限付HV方式(レバレッジ25倍に相当する金額と、その時々々の相場変動を踏まえ、ヒストリカル・ボラティリティ(HV)に基づいて算出した金額のうち、いずれか大きい方の金額を証拠金基準額とする方式)による証拠金基準額(レバレッジの上限は25倍)。法人口座(*) : 東京金融取引所が定めるHV方式(その時々々の相場変動を踏まえ、ヒストリカル・ボラティリティ(HV)に基づいて算出した金額を証拠金基準額とする方式)による証拠金基準額。この証拠金基準額は、過去の為替の価格変動に応じて変動しますので、レバレッジは一定ではなく明記することができません。
- (*) 以下に該当する法人口座については、個人口座に対する証拠金規制が適用されております。
- ・2012年4月20日以前にくりっく365取引口座開設済みの法人口座
- ・2012年4月21日以降、2017年2月24日までくりっく365取引口座開設済みだが開設手続き時点で「証拠金規制の解除」の申込(任意)を行わなかった法人口座
- ・外国為替証拠金取引では、証拠金額が一定の割合を下回ると「ロスカットルール」により強制的に反対売買がなされますが、差し入れた証拠金を上回る金額の取引が出来るため、短期的に予測に反する方向へ大きく向かった場合、証拠金の大部分あるいは証拠金の額を上回る損失が生ずるおそれがあります。
- ＜取引所株価指数証拠金取引に関するご注意事項＞
- ・取引所株価指数証拠金取引(株365)は、元本や利益(金利・配当金相当額を含む)を保証するものではありません。取引所株価指数は、対象指数の変動や為替相場の変動等により取得価格に対し変動するため、元本を割り込むおそれがあります。
- ・取引所株価指数証拠金取引のお取引に際し、当社が定める証拠金を差入れる必要があります。証拠金額は、東京金融取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定める額であり、証拠金額は東京金融取引所の規制及び当社独自の判断で変更されることがあります。このため、取引金額の証拠金額に対する比率は一定でなくその比率を明記することができません。
- ・取引所株価指数証拠金取引の手数料は、1枚あたり156円(税込)です。また、対象となる銘柄によっては、売り方は所有期間に応じ、所定の金利を支払う必要があります。
- ・取引所株価指数証拠金取引は、お客さまが行う取引の金額が、その取引についてお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっているため、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあります。
- ・お問い合わせ(当社の窓口)→お客様サポートセンター フリーコール 0120-230-230 ※携帯・PHS・050で始まるIP電話からは 03-6688-8889(※通話料は有料になります)
- ・ご意見・苦情について(当社以外の窓口)→ 特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター 電話: 0120-64-5005
- ・掲載情報は2020年9月1日現在のもので、詳細および最新情報は当社ホームページ(<https://kabu.com/default.html>)にてご確認ください。

auカブコム証券株式会社
金融商品取引業登録番号: 関東財務局長(金商)第61号
銀行代理業許可番号: 関東財務局長(銀代)第8号
電子決済等代行業者登録: 関東財務局長(電代)第18号
加入協会: 日本証券業協会・一般社団法人 金融先物取引業協会・一般社団法人 日本投資顧問業協会